



～誰もが暮らしやすい未来のために～ 「男女共同参画に関する市民意識調査」

ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政にご協力をいただき、ありがとうございます。

長岡京市では、性別にかかわらず一人ひとりが個性と能力を発揮し、あらゆる分野に参画する男女共同参画社会の実現をめざすために「長岡京市男女共同参画計画」を策定し、さまざまな施策を進めています。

この調査は、令和2年度に現行の計画が目標年度を迎えることから、次期計画を策定するため、広く市民の皆様の男女共同参画に関する考えや生活実態などをお聞かせいただき、計画に反映させることを目的に実施するものです。

つきましては、市内にお住まいの18歳以上の方々の中から2,000人を無作為に選ばせていただき、調査へのご協力をお願いすることといたしました。

この調査でご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、分析しますので、個人が特定されたり、他の目的に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年（2019年）9月

長岡京市長 中小路 健吾

ご記入にあたってのお願い

- 1 あて名のご本人が回答してください。もし、ご本人による記入が困難な場合は代筆でお願いします。
- 2 回答は、該当する数字を○で囲んでください。
「その他」を選んだ場合は、（ ）に具体的な内容を記入してください。
- 3 表形式の設問では、（○はそれぞれに1つ）と書いている場合は以下の要領で記入してください。

	そう 思う	せいど うえち 思ばら う かと	いど えち なら いと も	せいど うえち 思ばら わ かと ない	そう 思わ ない
① 長岡京市は住みやすい町だ	①	2	3	4	5

- 4 一部の方だけお答えいただく設問もありますので、その場合は注意書きや矢印にしたがってお答えください。
- 5 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて、
9月30日（月）までに投函してください（切手不要）。

<お問い合わせ>

長岡京市役所 対話推進部 男女共同参画センター

電話：963-5501（直通） FAX：963-5521（直通）

メール：danjo-c@city.nagaokakyo.lg.jp

あなたについておたずねします

問1 あなたの性別は。(○は1つ) ※あなたが認識されている性別でお答えください。

1. 男性	2. 女性	3. (自由記述)
例: 答えたくない どちらともいえない わからない 等		

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)

1. 18～29 歳	2. 30～39 歳	3. 40～49 歳
4. 50～59 歳	5. 60～69 歳	6. 70 歳以上

問3 あなたから見た現在の家族構成は。(○は1つ)

1. 自分一人	2. 自分と配偶者・パートナー
3. 自分と親 (二世代)	4. 自分と配偶者・パートナーと子ども (二世代)
5. 自分と子ども (二世代)	6. 自分と配偶者・パートナーと子どもと親 (三世代)
7. その他 (具体的に)	

問4 あなたにお子さんはいますか。(別居・同居は問いません)

1. いる	2. いない	→問5へ
-------	--------	------

問4で「1. いる」と回答された方におたずねします。

問4-1 お子さんの年代は。(○はいくつでも)

1. 0歳～就学前	2. 小学生	3. 中学生
4. 高校生	5. 大学生・大学院生・専門学校生	6. 1～5以外

問5 あなたの配偶者またはパートナーは、現在収入を得る仕事をしていますか。(○は1つ)

1. している	2. していない	3. 配偶者・パートナーはいない
---------	----------	------------------

問6 あなたの現在の職業は。(○は1つ)

① 自営・自由業	② 会社・組織へ勤務	③ 無職・学生
1. 農林業者 2. 商業・工業・サービス業などの自営業主 3. 自由業(開業医、芸術家、宗教家、弁護士など) 4. 上記1～3の家族従事者	5. 会社・団体役員 6. 正社員・正職員 7. パート・アルバイト 8. 派遣社員 9. 内職・在宅就業 10. その他(具体的に)	11. 専業主婦・専業主夫(収入を得る仕事をしていない) 12. 学生(専門学校生、大学生など) 13. その他の無職(年金生活者、失業中など)

問7へ

問7と問8へ

問9へ

仕事についておたずねします

問6で「1～10」に回答された仕事をしている方におたずねします。

問7 あなたは、今の職場・仕事に不満や悩みがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 収入が少ない | 2. 労働時間が長い |
| 3. 休暇が取りにくい | 4. 能力が正當に評価されていない |
| 5. ハラスメント*がある | 6. 仕事と家庭や個人の生活の両立がむずかしい |
| 7. 職場の人間関係がむずかしい | 8. 昇進や昇給などの待遇が男女で違う |
| 9. 女性が働き続けることに理解がない | 10. 会社や仕事の先行きが不安 |
| 11. その他(具体的に |) 12. 特にな |

※ハラスメント:いろいろな場面での「嫌がらせ、いじめ」を言います。他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせる、尊厳を傷つける、不利益を与える、脅威を与えるなど、その種類は様々です。

(例えば) **セクシュアル・ハラスメント**:相手が不快に思い、相手が自身の尊厳を傷つけられたと感じるような性的発言や行動のこと。

パワー・ハラスメント:職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与えたり、職場環境を悪化させる行為のこと。

マタニティ・ハラスメント:妊娠・出産を理由に職場において不利益を受けたり、精神的・肉体的な嫌がらせを受けたりすること。

問6で、「7. パート・アルバイト、8. 派遣社員、9. 内職・在宅就業」に回答された方におたずねします。

問8 現在の就労形態を選んでいる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 専門的な資格・技能を活かせるから | |
| 2. 自分の都合のよい時間に働けるから | |
| 3. 勤務時間や労働日数が短いから | |
| 4. 家計の補助、学費等を得たいから | |
| 5. 自分で自由に使えるお金を得たいから | |
| 6. 通勤時間が短いから | |
| 7. 正社員として働ける職場がなかったから | |
| 8. 家庭の事情(家事・子育て・介護等)と両立しやすいから | |
| 9. その他(具体的に |) |
| 10. 特に理由はない | |

全員におたずねします。

問9 働くことについて、今後どのようにしていきたいと考えていますか。(あてはまるものに○)

現在働いている人		} 問11へ
1. 今の職場で、管理職・役員をめざしたい		
2. 今の職場で、資格を取るなどして専門職として働きたい		
3. 今の職場で、非正規雇用から正規雇用に転換して働きたい		
4. 今の職場で、現在と同じ条件、処遇で継続して働きたい		
5. 転職したい		
6. 起業したい		
7. 適当な時期に仕事を辞めたい		
現在働いていない人		
8. できるだけ早く雇用されて働きたい	→ 問10へ	
9. 将来的には雇用されて働きたい	→ 問10へ	
10. 自営・起業など雇用されずに働きたい		
11. 働く予定はない		
1~11にあてはまらない人		} 問11へ
12. その他(具体的に)	
13. わからない		

問9で、「8. できるだけ早く雇用されて働きたい、9. 将来的には雇用されて働きたい」に回答された方におたずねします。

問10 あなたが、仕事につきたいと思う上で困ったことや不安がありますか。(○はいくつでも)

1. 仕事の募集が少ない	
2. 勤務時間や雇用形態、賃金などの労働条件が自分の希望と合わない	
3. 自分の能力や適性に合った仕事が少ない	
4. 就職に関する情報が得にくい	
5. 自分にキャリアや資格がない	
6. 仕事のブランクが長い	
7. 乳幼児の子どもを預けられない	
8. 介護や看護の必要な家族がいる	
9. その他(具体的に)
10. 特にない	

全員におたずねします。

問 11 あなたは、すべての人が性別にかかわらず、いきいきと働ける職場をつくるために、企業などは今後どのようなことに力を入れていく必要があると思いますか。

(○はいくつでも)

1. 育児休業や介護休業の制度を整備・充実する
2. 育児休業や介護休業が取得しやすい職場環境をつくる
3. 在宅勤務や短時間勤務制度など、柔軟な働き方を取り入れる
4. 結婚や出産にかかわらず、働き続けられる職場の雰囲気をつくる
5. 管理職に女性を積極的に登用する
6. 賃金や昇進などにおける男女の格差をなくす
7. 研修や能力開発の機会を充実する
8. 男女共同参画に関する意識向上のための研修を実施する
9. 職場におけるセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントなどをなくす
10. 企業内保育施設の設置など、子育て支援を充実する
11. 女性や若者、障がい者、高齢者などの雇用機会を拡大する
12. その他 (具体的に)
13. 特にない
14. わからない

子育てや暮らしなどについておたずねします

問 12 あなたは、「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考えをどのように思いますか。(○は1つ)

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

問 13 生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味等)」の優先度について、あなたの希望と現実(現状)に最も近いものはどれですか。

	○はそれぞれ1つ	
	希望	現実
1. 「仕事」を優先したい	1	1
2. 「家庭生活」を優先したい	2	2
3. 「地域・個人の生活」を優先したい	3	3
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	4	4
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	5	5
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	6	6
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	7	7
8. わからない	8	8

問 14 あなたは、今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 労働時間短縮や休暇制度を普及し、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
2. 男性が参加しやすい方法や場づくりをすること
3. 男性のための情報提供を行うこと
4. 男性が子育て、介護、地域活動などを行うための仲間づくりを進めること
5. 講習会や研修等を行い、男性の家事、子育て、介護の知識を高めること
6. 仕事中心の生き方や考え方を見直すための機会をつくること
7. 社会の中で、男性が家事などに参加することに対する評価を高めること
8. 事業主や企業に対して、仕事と生活の両立の重要性について啓発を行うこと
9. その他（具体的に _____）
10. 特にない
11. わからない

問 15 あなたは、子どもにどのような能力を身につけてほしいですか。（ほしかったですか）
※子どものいない方もお答えください。

	〇は①～⑨それぞれに1つ			
	両方に	主に女子に	主に男子に	特に身につけてほしいと思わない
① 家事能力	1	2	3	4
② 職業能力	1	2	3	4
③ リーダーシップ	1	2	3	4
④ 協調性	1	2	3	4
⑤ やさしさ	1	2	3	4
⑥ たくましさ	1	2	3	4
⑦ 忍耐力	1	2	3	4
⑧ 自立心	1	2	3	4
⑨ 実行力	1	2	3	4
⑩ その他（具体的に _____）				

問 16 あなたは、家庭教育の中で男女平等の考え方を育むためにはどのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 協力しあって家事・子育てなどをする
2. 「男はこう、女はこう」というような性別によって役割を決めつける言い方はしない
3. 学校で実践されている男女平等教育に関心を持つ
4. 学校や行政が実施する男女平等に関する学習機会に参加する
5. その他（具体的に _____）
6. 家庭の中の男女平等を進める必要はない

問 17 あなたは、男女平等を進めるために、小学校・中学校でどのような取り組みが重要だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 男女平等の意識を育てる授業をする
2. 性別によって偏ることなく、個人の能力、個性、希望を大事にした進路指導をする
3. 小学校の低学年から自分の心とからだは大切なものという自尊感情を育み、いじめや暴力から自分を守る力を育てる
4. 男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える
5. テレビやインターネットなどの情報を読み解いて使いこなす力をつける教育を進める
6. 性の多様性への理解を進める
7. 校長や教頭に女性を増やしていく
8. 教職員への、男女平等教育に関する研修を充実する
9. 保護者会などを通じて保護者に男女共同参画の啓発をする
10. その他（具体的に _____）
11. 特にない
12. わからない

問 18 次の地域活動について、あなたの参加状況に近いものに〇印をつけてください。

（〇は①～⑤それぞれに1つ）

	今後は参加したい	今後は参加したくない	今後は参加したくない	今後は参加したくない
① 自治会や町内会の活動	1	2	3	4
② P T Aや子ども会の活動	1	2	3	4
③ 地域における文化・スポーツ・学習の活動	1	2	3	4
④ N P O (非営利団体)やボランティアの活動	1	2	3	4
⑤ 民生委員・市政協力委員など公的な立場での活動	1	2	3	4

問 18 で、「今後は（も）参加したくない」と回答した方におたずねします。

問 18-1 それはどうしてですか。（〇はいくつでも）

1. 仕事が忙しいから
2. 家事・子育て・介護で忙しいから
3. 健康状態がおもわしくないから
4. 活動に魅力がないから
5. 人間関係がわずらわしいから
6. 活動の情報が得られないから
7. 参加するきっかけがないから
8. あまり関心がないから
9. その他（具体的に _____）

全員におたずねします。

問 19 あなたは、心とからだの健康を保つために、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 食生活や健康づくりに関する情報を提供する
2. 安心して出産できるよう周産期医療体制を充実する
3. 女性特有の病気などに配慮した女性外来の情報を提供する
4. 悩みや不安を相談できる体制を充実する
5. 暴力の被害者に対する支援体制を充実する
6. リフレッシュできるような場を提供する
7. 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習機会をつくる
8. その他（具体的に)
9. 特にない
10. わからない

問 20 防災・災害復興対策で性別に配慮して取り組む必要があると思うことは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 避難所の設備（男女別トイレ・更衣室・防犯対策）
2. 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対策に女性の視点が入ること
3. 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性（女性用品）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮
4. 災害時の救急医療体制（診察・治療体制・妊産婦）
5. 被災者に対する相談体制
6. 防災計画・防災会議に女性が参画すること
7. その他（具体的に)
8. 特にない
9. わからない

人権の尊重についておたずねします

問 21 あなたが、女性の人権が侵害されていると思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. ドメスティック・バイオレンス(夫婦・パートナー間の暴力)やデートDV(恋人からの暴力)
2. セクシュアル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント
3. 雑誌、インターネットなどで女性の性が人格と切り離されて商品化されていること(児童ポルノ含む)
4. ストーカー行為
5. 売買春（援助交際含む）
6. 職場における待遇の男女格差
7. 男女の役割分担を固定化する考え方
8. 女性の社会進出のための支援制度の不備
9. その他（具体的に)
10. 特にない

問 22 あなたは、職場や学校、地域などにおいて次のような行為を受けたことがありますか。

(○はそれぞれいくつでも)	職場	学校	地域
1. 年齢や容姿のことで傷つくようなことを言われる	1	1	1
2. 「女(男)のくせに」「女(男)だから」と差別的な言い方をされる	2	2	2
3. 結婚や異性との交流についてしつこく聞かれる	3	3	3
4. 異性に体をさわられた・卑猥な話を聞かされる	4	4	4
5. 交際や性的行為を強要される	5	5	5
6. 権力や立場が強いことを利用して嫌がらせをされる	6	6	6
7. 妊娠・出産を理由に不当な扱いを受ける	7	7	7
8. しつこくつきまとわれる(ストーカー行為)	8	8	8
9. 上記のような経験はない	9	9	9

問 23 あなたは、主に女性が被害にあっている次の問題について知っていますか。

(○は①～⑤それぞれに1つ)	よく知っている	少しは中身を 知っている	言葉は聞いた ことがある	知らない
① デートDV*	1	2	3	4
② デートレイプドラッグ*	1	2	3	4
③ リベンジポルノ*	1	2	3	4
④ JKビジネス*	1	2	3	4
⑤ AV出演強要*	1	2	3	4

※デートDV:交際中のカップル間で起こる暴力のこと。相手を自分の思いどおりにコントロールしようとする態度や行動。殴る、蹴るだけでなく、ひどい言葉で傷つける、監視する、友達との交際を制限するなど「暴力」の種類は、様々です。

※デートレイプドラッグ:デートや飲み会ですすめられた飲食物に睡眠導入剤などが混入されており、意識を失ったところで性暴力にあう被害のこと。

※リベンジポルノ:交際中に撮影した画像や動画が、元交際相手によって同意なくインターネット上に公表されること。

※JKビジネス:甘い言葉で誘われ、高収入アルバイトに応募すると、性的サービスを要求されたり、性暴力・ストーカー行為などの被害にあう危険性の高いアルバイトのこと。

※AV出演強要:モデル契約などと偽ってスカウトされ、半ば強引にアダルトビデオ(AV)への出演強要や、出演を拒否すると多額の違約金を請求されること。

問 24 あなたは、LGBT* (性的少数者) という言葉を知っていますか。

1. よく知っている	2. 少しは中身を知っている
3. 言葉は聞いたことがある	4. 知らない

※LGBT:L=レズビアン(女性同性愛者)、G=ゲイ(男性同性愛者)、B=バイセクシュアル(両性愛者)、T=トランスジェンダー(身体的な性別と生きようとする性別が異なる人)の頭文字を組み合わせたもので、セクシュアルマイリティ(性的少数者)全般を指す言葉として広く使われています。

問 25 性的少数者の人権を守り、性の多様性※を認める社会を実現するためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 性的少数者の生きづらさや困りごとを社会的な課題として啓発する
2. 同性パートナーシップなど制度面の配慮を行う
3. 性的少数者に対する差別や人権侵害を禁止する条例などを制定する
4. 性的少数者のための相談窓口を設置する
5. 性の多様性について学校教育を充実する
6. 公文書などにおける性別表記に配慮する
7. 性別にかかわらず利用できる多目的トイレなどの設置を推進する
8. その他 (具体的に)
9. 特にない
10. わからない

※性の多様性:性には、からだの性、心の性、好きになる性、表現する性の大きく4つの要素があり、その組合せは多様です。このような多様な性のあり方を、Sexual Orientation＝性的指向(どの性別が好きか／好きになる性)、Gender Identity＝性自認(自分がどの性別か／こころの性)の頭文字を組み合わせ、SOGI(ソジ)と表わすことが増えてきています。性的指向や生活習慣、価値観などは人によって様々であり、これらの多様性を受け入れ、社会として新しい価値を生み出すことが求められています。

問 26 あなたはこれまでに、あなたの配偶者やパートナー、恋人から次のようなことをされたこと、あなたの配偶者やパートナー、恋人にしたことがありますか。

	されたことがありますか						したことがありますか					
	配偶者・パートナーから			恋人から			配偶者・パートナーに			恋人に		
	何度もあった	1〜2度あった	まったくくない	何度もあった	1〜2度あった	まったくくない	何度もあった	1〜2度あった	まったくくない	何度もあった	1〜2度あった	まったくくない
① 身体的な暴力 殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりする等	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
② 精神的な暴力 大声でどなる、長時間無視する、ののしる、脅迫する等	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
③ 性的な暴力 性行為を強要する、嫌がっているのにポルノ雑誌や動画などを見せる、避妊に協力しない、中絶を強要する等	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
④ 経済的な暴力 生活費を渡さない、仕事をして収入を得ることを制限する、相談なく無計画な借金をさせる等	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
⑤ 社会的な暴力 外出や親友・友人との付き合いを制限する、電話やメールを細かくチェックする等	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3

男女共同参画社会についておたずねします

問 27 あなたは、社会における次の分野において、男女が平等になっていると思いますか。

(○は①～⑧それぞれに1つ)	男性が優遇 されている	どちらかといえ ば男性が優遇 されている	平 等 に な っ て い る	ど ち ら か と い え ば 女 性 が 優 遇 さ れ て い る	女 性 が 優 遇 さ れ て い る
	① 家庭生活では	1	2	3	4
② 職場では	1	2	3	4	5
③ 地域では	1	2	3	4	5
④ 社会通念・慣習・しきたりでは	1	2	3	4	5
⑤ 法律や制度の上では	1	2	3	4	5
⑥ 政治・行政の場では	1	2	3	4	5
⑦ 学校教育の場では	1	2	3	4	5
⑧ 社会全般として	1	2	3	4	5

問 28 あなたは、次の法律や言葉、長岡京市の取り組みを知っていますか。

(○は①～⑨それぞれに1つ)	よく 知 っ て い る	少 し は 中 身 を 知 っ て い る	言 葉 は 聞 い た こ と が あ る	知 ら な い
	① 男女共同参画社会	1	2	3
② 長岡京市男女共同参画推進条例	1	2	3	4
③ 女性活躍推進法 働く場面で活躍したいという希望を持つ女性が活躍できるよう、一定規模以上の企業等に取り組みを義務づけた法律。	1	2	3	4
④ 「えるぼし」* 「くるみん」* 「『京都モデル』ワーク・ライフ・バランス認証」* などの認定制度 女性の活躍推進や仕事と子育ての両立支援について一定の要件を満たした企業を国や京都府が認定する制度。	1	2	3	4
⑤ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3	4
⑥ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ （性と生殖に関する健康と権利）	1	2	3	4
⑦ ジェンダー	1	2	3	4
⑧ 積極的格差是正措置（ポジティブ・アクション）	1	2	3	4
⑨ 男女共同参画センター （女性の相談室・男性の電話相談）	1	2	3	4

※「えるぼし」マーク



※「くるみん」マーク



※「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証



問 29 あなたは、この5年間で次のようなことが、どの程度進んだと思いますか。

	前進した	前進した どちらかといえば	5年前と 変わらない	後退した どちらかといえば	後退した	わからない
(○は①～⑤それぞれに1つ)						
① 男女平等の考え方	1	2	3	4	5	6
② 職場や地域などでの女性の活躍	1	2	3	4	5	6
③ 仕事と生活のバランスの実現	1	2	3	4	5	6
④ セクシュアル・ハラスメントやDV、児童虐待などあらゆる暴力への対応	1	2	3	4	5	6
⑤ 性の多様性への理解	1	2	3	4	5	6

問 30 あなたは、「男女共同参画社会」を実現するために、今後、長岡京市はどのようなことに取り組むことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 法律や制度の面で見直しを行う 2. 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する 3. 保育施設・保育サービスや高齢者の施設や介護サービスを充実する 4. 男女の平等と相互の理解や協力について学習機会を充実する 5. 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする 6. DVや児童虐待を根絶するための取り組みを進める 7. その他（具体的に 8. 特にな 9. わからない)
---	---

■ 男女共同参画社会実現のためのご意見など、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、**9月30日(月)**までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)